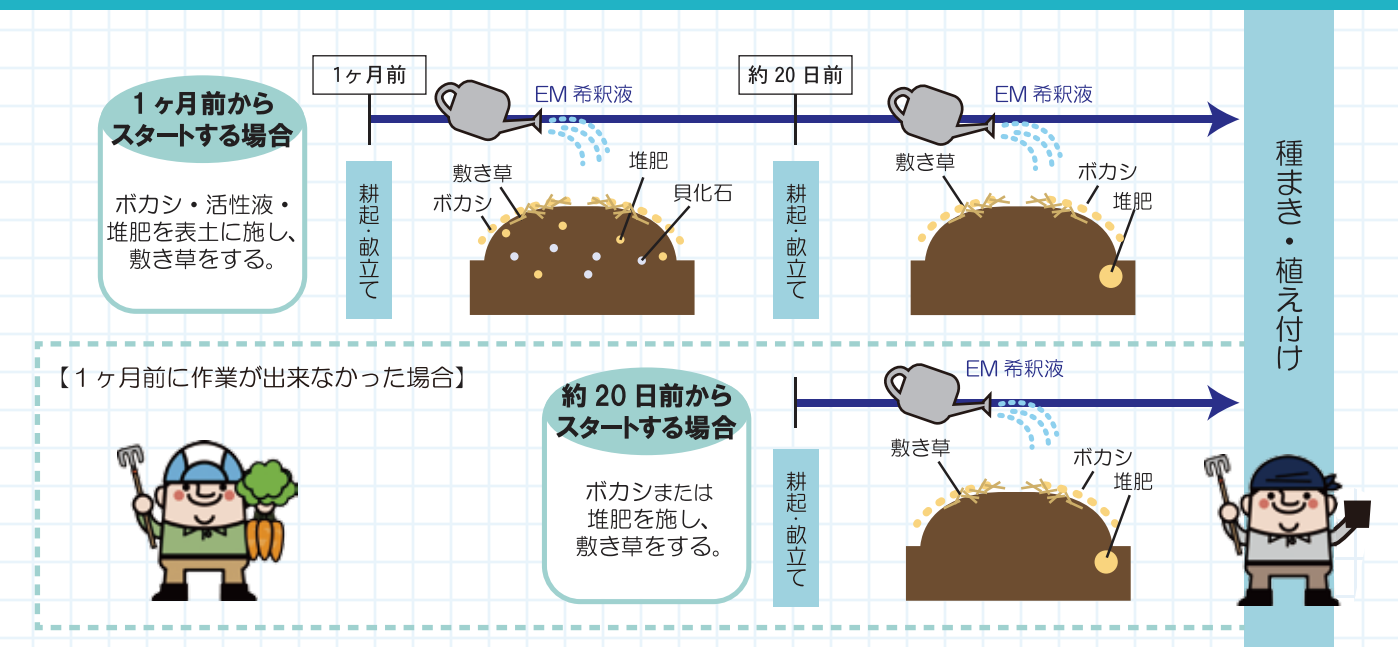
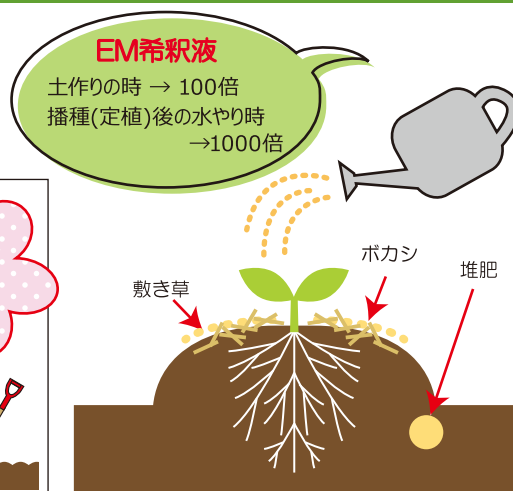
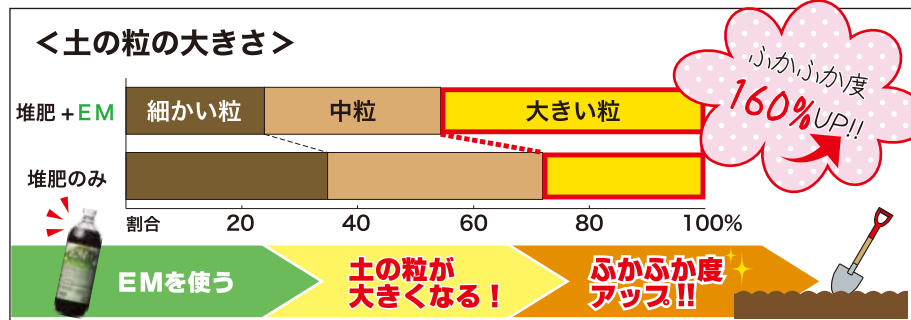


■ 作業手順



■ EMを使うとどうなるの??

完熟堆肥(窒素炭素比15~20)や稲わらなどを土の表面に敷き、定期的にEMを散布していると、土表面の微生物が豊かになり、活動が活発になります。その結果、土が“ふかふか”に!! 葉面散布すれば、植物が“いきいき”と!! 畑や花壇などの土作りで是非お試しください。



■ 困ったときにはこれ! ~今すぐ植物の活力をUPさせる資材~

EM5
天然ストチュウ

虫や病気から守りたい!

病気や害虫の予防には、効果を発揮するのは、天然ストチュウ。古くから作物の栽培に使われてきたストチュウに、有機栽培のニンニクと唐辛子を加え、EMで発酵させたものです。病害虫の発生しやすい時期に、水で500~1000倍に薄めて1回/1週間程度散布します。EM1と併用すると効果的です!

EM7
植物活力材

花や野菜を元気にしたい!!

EM7は、EMが作り出した発酵代謝物をさらにセラミックやミネラルによって強化した植物活力剤です。植物に葉面散布することで、EM7に含まれる物質が、植物や葉面微生物を刺激し、植物の機能を高め、健全育成を促します。特に、弱った植物には、水で5000~10000倍に薄め葉面散布を3~7日続けて下さい。

株式会社 EM研究所

〒421-1223 静岡県静岡市葵区吉津 666 TEL : 054 (277) 0221 FAX : 054 (277) 0099 URL : <http://www.emlabo.co.jp>

サンキュー やさい
0120-309-831 <受付時間>
9:30 ~ 17:00 (平日)



<EM研究所 WEBサイト>

20160626

有機栽培で おいしい野菜を 作りませんか?



苗を植えてすぐに
枯れてしまった。

病気に
なっちゃった...

有機肥料って
どう使うの??

土を柔らかくするって
どういうこと??

虫がついて
しまった...

実りを
良くしたい!!

おいしい野菜は、
良い土から!
EMが
あなたの野菜づくりを
お手伝いします!!



株式会社 EM研究所

■ “おいしい野菜が育つ土” って、どんな土??

森林などの落ち葉が積もった土壌には豊富な微生物が存在し、有機物を分解したり合成したりして土を良くする働きをしています。**ミミズ**や微生物が住んでいる、**窒素・リン・カリウム**などの栄養分を含み、**中性であること**、**水はけや水持ちが良いこと**、これら3つのバランスが整っていることが、良い土の条件です。

■ EM を使って土作りをすると・・・

野菜の根を弱らせるのは、土作りのために入れた堆肥や肥料が土になじんでいない場合が多く見られます。また、栄養分が過剰であったり、肥料が根に近すぎると、しっかりとした根が張れません。そこで、**EM**を使用し、土の中の微生物の働きを活発にして、堆肥や肥料を早く土になじませましょう。また、栄養分を野菜の根から少し離れたところに施すのも、根をしっかりと張らせるポイントです。**EMの働きで土の中の微生物が活発になると、土が柔らかくなり、植物の根は自ら栄養分を求めてしっかりと張るようになります。**

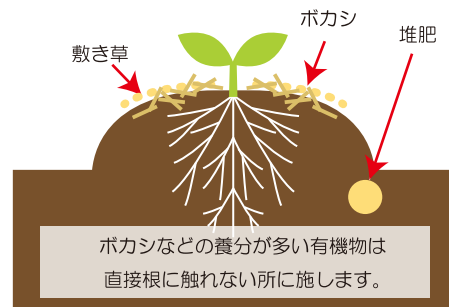
野菜のくずや米ぬか、油かす、魚かすなどの食品残渣は、野菜の生育に必要な栄養分やミネラル、酵素などを多く含んでいます。それらを**EM**で発酵させ、肥料として耕すことは作物の生育を良くし、おいしい野菜を作る最も基本的なことです。

土作りの基本事項

1. 森林土壌の再現
2. 生物多様性の実現
3. 根張りを優先した土作り



施肥方法のコツ

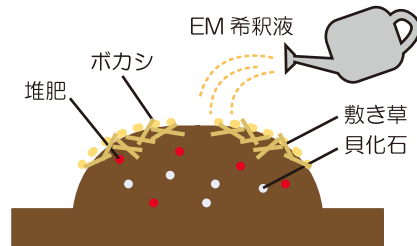


STEP 1

種まき・植え付けの1ヵ月以上前の作業

<用意するもの(1㎡あたり)>

- 堆肥…2kg
- ポカシⅡ型…100g
- EM希釈液…100倍に薄めたもの
(水:EM1=1L:10ml)



堆肥、ポカシを鋤込む土壌改良は、定植1ヶ月以上前に行うのがベスト！
例：春に植えたい → 前年秋にスタート

- ① 堆肥・ポカシ・貝化石を施した後、耕して畝立てします。
- ② 土が十分湿る程度に**EM希釈液**(1L/1㎡)を散布します。
- ③ 散布後は、土中の湿度を保つため、敷き草、又はポリマルチを施すと良いでしょう。



STEP 2

種まき・植え付けの20日前からの作業

前段階の作業が出来なかった場合は、ここからスタートです！



<用意するもの(1㎡あたり)>

- ポカシⅡ型…100g
- EM希釈液…1000倍に薄める
(水:EM1=1L:1ml)



① まずは、畝立てと成形です。



② 畝立て後、表層に**ポカシⅡ型**を施して、軽く耕します。



③ 表層を軽く耕します。
※ ポカシは深く鋤込まないように。



④ 畝立てと施肥の完成。**EM希釈液**を散布します。※ しばらくこのままの状態を維持します。



表土を敷き草で覆うと雑草抑制の効果があります。また、夏場に水をたっぷりかけて透明ポリマルチで覆う太陽熱消毒を行うと、雑草抑制効果がUPします。



⑤ ポカシを施してから、しばらくすると菌糸が発生します。確認後、15日以上(目安)経ち、菌糸が消えたら種まき・植え付けを行います。